

令和7年
5月9日

No.86

ぎかいの広場

市民と議会のかけはし



山荘閑苑

CONTENTS

特集「移住者と議会」	2
一般質問	4
令和7年度予算	8

議案解説	12
議会改革推進特別委員会報告	13
お知らせ・賛否結果一覧	14

移住者と議会

都市部から地方への移住・定住のニーズが高まっています。ふるさと回帰支援センターが実施した「2024年移住希望地ランキング」では、群馬県が全国で1位にランクインするなど、注目を集めています。

そんな中、本市でも埼玉県から移住されたご夫婦が、地域文化交流の拠点を築く活動をされています。新たな土地での生活を通じて、どのように地域とのつながりを深め、文化を育てているのでしょうか。

今回の特集では、移住者としての視点から、活動への思いや取組について、また地域の魅力や課題、そして地域交流の重要性についてもお話を伺いました。

■移住のきっかけについて聞かせてください

治生さん：私たちはもともと歴史好きで、群馬には山城歩きや温泉を目的に何度も訪れていました。定年退職後の田舎暮らしを検討する中で次第に古民家に興味を湧き、インターネットの空き家検索サイトで調べたところ、この物件を見つけました。見学予約をして案内してもらったのはここが一軒目だったのですが、即決でした。

明美さん：後閑城もかなり前ですが来たことがあって、この家はその城域内にあるのも気に入った理由です。明治時代の建築で、直せば住める状態でしたし、ロケーション的にも、日差しや風の具合など、すべて古民家としての良い要素が揃っていました。大きな蔵や養蚕農家らしい赤いトタン屋根など一見して気に入りました。

治生さん：移住を決める前に、ご近所の方々からもいろいろお話をお聞きし、新幹線の駅が近いことも知りました。「まあ住んでみてくださいよ」という言葉も、背中を押してくれました。



神津治生さん



神津明美さん

埼玉県からご夫婦で本市に移住。後閑で地域文化交流施設「後閑山荘」を開設し、講演会や展示会などを通じて地域の交流を育てている。

■建物の改修はかなりされましたか？

治生さん：かなり改修しました。最初はDIYでやる気だったのですが、床がかなり腐食していて、柱も継がなければならない状態でした。そこで、隣の方に探していただき、ある工務店にお願いしました。こちらの方々には宮大工に近い方で、古民家改修の経験も豊富でした。改修には1年半くらいかかりました。

明美さん：植栽の剪定や屋根の塗装なども、ご近所の方に紹介してもらいました。地域の情報をもとにお願いできたのが大きかったです。ネットで調べてもうまくいかなかったのですが、地域の方々のおかげで、うまくいきました。

治生さん：私自身、ネット文化に浸かっていましたが、顔で繋がるのが信用にもつながり、間違いがないと実感しました。顔が見えるアナログの良さを感じましたね。



■地域との交流について聞かせてください

明美さん：私自身、生涯学習等に関わる仕事をしてきた経験があり、地域と一緒にこの家を稼働させたいと考えています。昨年11月にオープンしたのですが、オープニングイベントでは、



琴の演奏会と落語、講演会を開催しました。また、その後アート展や後閑城フィールドワーク、古民家改修の記録展示と講演会など、地域の皆さんと共に楽しめる事業展開を通じて、地域文化交流を深めていきたいと思っています。

治生さん：地域の歴史も色々調べていくうちに、交流も広がっていきます。その体験を講演でお話しできればと思っています。地域には多くの可能性があり、様々な方々が前面に出てくれば、その顔が見えてきますから。

■今後の展望について聞かせてください

治生さん：将来的には後閑城歴史館を作りたいですね。地域の歴史館ができれば、歴史や文化を多くの人に知ってもらえる機会になると思います。



明美さん：いろいろな方に声をかけてみようかと考えています。また、自分たちで次のイベントを計画することも楽しみです。私たちが楽しむことをやりたいと思っています。いろいろな出会いが次の展開を呼び込んでくれています。

■議会への印象や期待などありましたら聞かせてください

明美さん：地域には、素晴らしい取組をされている方々がいらっしゃるのので、議会のお力添えがあれば良いと思います。持続的に文化事業を行っていくのは大変ですが、より良い形で進められるのではないかと期待しています。

治生さん：後閑山荘のイベントにはすでに何人かの議員さんにお越しいただき、意見なども交換させていただきました。従来からの市民の方々の求める暮らしやすさと、移住希望者の求める住みやすさは、概ね合致していると思いますが、微妙に異なる部分もあるかと思っています。落としどころは難しいと思いますが、「選ばれる移住地」を実現するため、引き続きご尽力をいただきたいと思っています。

こんなことを聞きました /

一 般 質 問

一般質問とは…

市議会議員が市長に対して行う質問です。内容は提出議案にかかわらず、市政全般に及びます。このため、質問内容は議員により様々です。

皆さんの気になっていた質問、ご自身の生活に影響のある質問はありましたか？

今回の定例会では、7名の議員が15項目について質問をしました。

発言順に質問の要旨を掲載しています。

詳しい質問や答弁の内容は、質問者ごとに掲載している2次元コードからご確認ください。

質問項目の詳細は、以下のコードよりご覧いただけます。



一般質問通告書のページを表示します。

- ・投票率向上について
- ・閉校後の利活用について
- ・職員の働きやすい環境整備について

1点目は、投票率の向上についてです。今夏の参議院議員選挙を皮切りに、来年、再来年と選挙が続きます。報道等にもありますが、投票率の向上については、課題があります。

主権者教育も大事な取り組みですが、今回は、投票所の開設時間などの投票制度という観点から、本市の状況を質問しました。

2点目は、閉校後の利活用状況についてです。過日、旧九十九小学校の利活用に向けて、市民ワークショップが行われました。昨年6月に策定された市の基本方針に基づき、手続きが進められている中で、その市民ワークショップの概要と今後の流れを確認しました。

また、利活用を考えるべき施設が

増えており、以前の一般質問で、公共施設の在り方について質問しましたが、再度、閉校後の旧学校施設の利活用についても質問しました。

3点目は、市職員の働きやすい環境整備についてです。

過日、出退勤管理システムが導入されたため、超過勤務の多い職場の状況を伺いつつ、システムの概要も質問しました。

また、超過勤務が多い部署において、職員の精神衛生上の観点から、時差出勤が可能となるか質問しました。



新風新政会
うさみ まこと
宇佐美 誠



詳しい内容は
こちら

・防災としての浸水想定区域図[※]の策定について

・過去の災害からの教訓、災害情報等の伝達、地域での井戸の活用について



清風クラブ
おがわ つよし
小川 剛



詳しい内容は
こちら

日本のどこでも地震や異常気象は起こります。これまでの色々な災害の経験から、自然災害の発生は防げませんが、災害に備え準備を進める事で被害を減らせる事を学びました。

災害時のトイレ環境の充実。市内で活躍するキッチンカーとの災害時の協定による温かい食事の提供。また、市内の大きな病院や老人施設が保有する、停電時の非常用発電装置への行政での燃料確保・調達や、各施設の燃料種類・容量・稼働時間等の把握を進める施策について聞きました。

また昭和10年に安中で発生した大災害から90年が経過します。後閑川や増田川の被害は県内で最も激しく、死者・行方不明者合わせて60

名となりました。過去の災害を忘れずに次世代に伝える方策について質問しました。能登地震では長期の断水が発生し民家の井戸が役立ちましたので、安中市内行政区毎の井戸の把握と活用について聞きました。



2024年9月豪雨での
西上秋間小林地区の土砂災害

※浸水想定区域図…近年、想定を超える浸水被害が多発し、水災による被害の軽減を図るため、河川氾濫の場合に浸水が想定される区域と水深を示すもの

・防災、減災対策の推進について

・市民ギャラリーについて

1項目目は防災・減災対策の推進についてです。阪神・淡路大震災から30年、東日本大震災から14年が経過しました。自然災害は、今なお、日本をはじめ世界中で人々の生活を脅かし続けています。今日においては、科学技術は格段に進歩していますが、地震などの自然現象を正確に予知することは今もできません。よって、不測の自然災害から身を守るためには危険を忘れず、今できる備えを怠らないことが肝要です。そこで、市庁舎における避難訓練、地域の防災対策、学校における防災教育、携帯トイレ等の備蓄、住宅の耐震化について質問しました。

2項目目は、市民ギャラリーにつ

いてです。文化活動は、創造力や表現力を高めるとともに心のつながりや相互に理解し合う気持ち、多様性を受け入れることのできる豊かな心を育むものです。市民文化の向上を図ることから、本市の展示施設の現状や今後のギャラリーの整備について質問しました。



市庁舎で行われた避難訓練



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら

・ DX 推進計画により描く未来社会について

・ 行政サービスを受けやすくするための DX 推進について



清風クラブ
やなぎさわ ひろゆき
柳沢 浩之



詳しい内容は
こちら

デジタル庁は、誰一人取り残さない人に優しいデジタル化により、地域の活性化・地域の魅力が向上し、持続可能性が確保された社会の実現を目指すために基本方針を策定しました。本市としても、令和6年3月に、DX*推進計画を策定し、デジタル技術を活用した行政サービスの効率化や利便性の向上を図るための様々な取り組みを実施し、行政のDX・地域のDXを推進し、スマートシティへの転換を目指しています。人に優しいDXの推進で、さらに光り輝くまちの実現について質問しました。その他、地域の暮らしを良くする

ためのDX推進について、西毛運動公園陸上競技場について、弓道場について、プロスポーツアカデミーについて質問しました。



文書の電子化もDXの一つ

※ DX …デジタルテクノロジーを使用して、業務効率や行政サービスなどをより良くしていくためのプロセス。

・ 古道「妙義道・榛名道」について

・ 碓氷峠廃線跡活用の取り組みについて

江戸時代には妙義神社と榛名神社をつなぐ道が市内を通っていました。この永遠の時代に想いを馳せる古道に焦点を当てました。そしてもう1点は、100年の歳月を刻む碓氷峠の鉄道をテーマに質問しました。両者とも安中の地域ブランドを構築するものです。安中には何もないと卑下する住民は少なくありません。長い間住んでいるとわからないのですが、一旦外から客観的に安中を見ると新鮮に映ります。地域ブランドとは、ここが安中だ、他の地域とはここが違うんだということを感情で認識し、信頼・信用として識別してもらうためのしるしです。効果的に地域ブランディングを進めるなら、

現存する資源をフルに活用するのが常套手段です。

古道「妙義道・榛名道」や碓氷峠の廃線跡は、磨けば光る原石です。この原石を本市がどうやって磨いていくのかについて、質問しました。



県内最古の江戸時代の「恵宝沢の道標」



日本共産党安中市議団

はらだ だい
原田 大



詳しい内容は
こちら

・安中市合併 20 周年の検証について

・子ども、子育て支援について



清風クラブ
まつもと つぎお
松本 次男



詳しい内容は
こちら

2006年（平成18年）3月18日、安中市と松井田町が合併し新安中市が誕生して来年3月18日で20周年となります。この間、社会経済状況は大きく変化し、少子高齢化や人口減少の進行など、自治体経営の厳しさはこれまでになく増大しています。そこで、安中市合併20周年を迎えようとしている今日、改めて政策的見地と住民目線の双方から合併を検証するとともに、今後のまちづくりについて聞きました。

本市では、子ども・子育て支援の更なる充実を図るため、「安中市子ども計画」の策定が進められています。新たに策定される計画について、策定体制や基本目標、施策展開の方向

性などについて質問しました。併せて、これまで課題や問題点の多さから事業実施に至らなかった施策がどう計画に反映されているのか。具体的な取り組みへ向けた考え方などについて聞きました。



合併20周年を控え建設が進む新庁舎

・福祉行政について ・道の駅整備について

・碓氷関所の整備について

介護報酬が低く抑えられているために、介護に従事する方が激減していて、各事業所ではヘルパーが退職しても補充ができず営業が厳しくなっています。ヘルパーの養成講習を市の責任で開くべきです。甘楽町では昨年度で、富岡市では今年度をもって「社協の訪問介護事業」が事業廃止するそうです。訪問介護事業の充実について聞きました。

道の駅計画は、市の最西端、国道と信越線に挟まれた狭く細長い土地、しかも進入路は「土砂災害警戒区域」など立地条件が悪すぎると、疑問を持つ市民が多く、全面的に見直すべきではないかと聞きました。川場村では、世田谷区との交流事業

から30年かけて、村と農家が協議を尽くして「(株)田園プラザ川場」を作ったそうです。ビール工房、パン工房、ミート工房など、農家と行政が検討し、3年かけてようやく「道の駅」に登録したと聞きます。市民の声に耳を貸し、事業の見直しをする勇気も持つべきと聞きました。

中山道碓氷峠越と共に碓氷関所が国史跡として指定されたことから、関所資料館を現在の東門の隣にある「関所会館」の場所に新設し、地元のために「住民センター」を適切な場所に設置すべきではないかと聞きました。



日本共産党安中市議団

かない ひさお
金井 久男



詳しい内容は
こちら

令和7年度予算を掘り下げる

令和7年第1回定例会では、令和7年度予算が審議され、一般会計予算326億2千万円をはじめ、全8会計の予算が令和7年3月21日に可決、成立しました。

総務費や民生費など、大きな分類では何に使われるのかイメージが湧きにくいものですが、実際の質疑では具体的な項目に触れており、より身近に感じられます。

ここでは予算審査特別委員会で行われた質疑の一部を取り上げ、紹介します。



その他の
質問項目はこちら
(附属資料を
ご覧ください)

【総務費】シニアカー購入補助金の申請条件緩和を

Q 問合せが増えているシニアカー購入費補助金は、免許返納前になぜ申請できないのか。移動手段がなくなる前から申請できなければ意味がないのでは。

A 自主返納しやすい環境作りを推進するのが目的である。自主返納後に外出する際の利便を図り自立した生活を支援するための補助金であるため、自主返納してからが前提である。



外出に便利なシニアカー、道路交通法上は「歩行者」とみなされる



令和7年度は新庁舎建設仕上げの年となる

【総務費】新しい地域公共交通

Q 路線バス対策事業について、令和6年度予算から1億円を超える増額となっている。増額分の詳細は。

A 公共交通の見直しに向けた、路線バスやデマンド交通に用いる車両などの購入費用に5千362万2千円、停留所の設置費用やデマンド配車システムの導入費用など合計8千96万2千円である。



AI 新交通実証実験第2弾の運行区域図、旧松井田町エリア外の停留所として「公立碓氷病院」と「JR 磯部駅」が設定されている

【総務費】新庁舎建設における起債と返済計画

Q 新庁舎建設にかかる起債の額と返済計画は。

A 予算ベースだが、合併特例事業債、緊急防災・減災事業債、脱炭素化推進事業債で合わせて49.5億円、交付税算入予定額は利子分を除き33億円を見込んでいる。25年で償還し、年利1.7%とした場合の年間返済額は、2億4千200万円となる。

【総務費】 地方就職学生の支援を

Q 地方就職学生支援事業補助金の増額理由は。

A 若者の地方移住に対する支援を強化することを目的としているが、これまでは就職活動に係る交通費を補助するものだった。新年度は交通費に加え就職に伴い移転する際の費用も補助対象となるため、移転に係る補助金分が増額になった。

【民生費】 敬老祝金の給付漏れ対策を

Q 敬老祝金が、たまたま基準日に市外に入院していた方に給付されなかったことがあったというが、改善されたのか。

A 元は祝金を民生委員などが手渡ししていたが、現在は口座振込に規則を定め、基準日に在宅の方に給付している。

【民生費】 病児保育事業の計画は

Q 令和 8 年度に市内で病児保育事業を開始するため開設準備経費を計上しているが、令和 7 年度は具体的にどのような施策を行っていくのか。

A 病児保育事業について、令和 7 年度は選択肢の一つとして、市内の民間施設における開設について検討し、今後は碓氷病院の医療資源を最大限に活用する方針に沿って事業開始に向けて準備を進めたい。

【民生費】 深まる地域の絆

Q ふれあい・いきいきサロン事業補助金の予算が増額となった理由は。

A 年間 16 回以上の開催については、市単独事業として「ふれあいの居場所事業」を実施しているが、令和 7 年度より、1 回の補助額を 500 円から 1,000 円に変更するための増額である。サロン活動をより促進し、地域全体の絆を深めてもらうことを目的として増額したものである。

【民生費】 大学受験料等の補助を

Q 大学受験料等補助金はどのような内容か。

A 学習援助事業の新規事業となるが、安中市に住所があり、高校 3 年生及び中学 3 年生を養育しているひとり親家庭や低所得子育て世帯において、大学等受験料や模擬試験の費用の補助を行う。

【民生費】 スムーズな集団生活をサポート

Q 気になる子支援事業は、特別な支援が必要となる子どもに早期に手厚い支援を行うため、保育士の人件費を補助するものだが、どのような効果が期待できるのか。

A 人員配置を充実させることで、気になる子が早期の手厚い支援によって集団生活ができるようになり、より発達や成長が期待され、スムーズな集団生活を促進することになる。

【衛生費】 高齢者のごみ出しをサポート

Q 新規事業であるごみ出しサポート事業の概要と会計年度任用職員報酬 873 万 5 千円、備品購入費 416 万 8 千円の詳細は。

A 概要は、80 歳以上の高齢者世帯を対象とし、ご自宅まで家庭ごみを収集に伺う。予算計上は、会計年度任用職員 5 名分の人件費と軽貨物 2 台分の車両購入費である。



【農林水産業費】 森林経営管理事業における職員の確保を

Q 新年度に会計年度任用職員 1 名を見込んでいます。令和 5 年度決算審査時に任用が難しいという話があったが、令和 6 年度で減額補正し、新年度予算では、計上している。任用にあたって工夫する点は。

A 県や森林事務所の退職予定者や OB、本人への直接呼びかけなど人材確保に努めたが今のところ任用に結び付いていない状況である。今後はハローワークでの公募など、引き続き人材確保に努める。

【商工費】 秋間梅林振興のための道路整備を

Q 秋間梅林振興は年間を通じた施策を考えていくべきであり、そのためには頂上まで観光バスも通行可能な道路整備も必要だがどうか。

A 観光地において大型の観光バスを用いた団体の集客は重要である。あくまでも観光課の意見だが、秋間梅林を通年の観光地とするためには、頂上まで大型観光バスが通行可能な道路は必要であると考えている。



例年多くの観光客が訪れる秋間梅林

【商工費】 職場環境改善サポート補助金による支援を

Q 市内中小事業者へ安心して快適な職場環境を整備する補助金の目的や対象はどうか。

A 女性、高齢者、障がい者等、多様な人材の活躍を後押しし、共生社会の実現を目指すことで新規雇用の創出や市内商工業の発展を目的としている。ベビールームやバリアフリートイレ新設、手すりやスロープ設置に係るバリアフリー工事等も対象となる。

【消防費】 消防車両運転免許取得への補助

Q 道路交通法改正で準中型免許が新設され、消防団で所有する消防車両が運転できない方への補助金だが、補助の対象条件はどうか。

A 団員が普通免許を有し分団長の推薦があること、所属分団所有車両が運転できない免許であること、補助金交付から 5 年以上団員として活動する意思を有すること、申請日において、3 年以上の在職期間を有することが条件である。



平成 29 年 3 月の道路交通法改正により、準中型自動車（車両総重量 3.5 トン以上 7.5 トン未満）の区分が設けられた

【教育費】 ALT の採用形態変更による効果は

Q ALT*の採用が JET 制度*から民間業者からの派遣に変更されたのか？子どもとの触れ合いの様子はどうか？

※ ALT … 外国語指導助手。英語の授業などにおける外国籍の補助教員。

※ JET 制度 … 語学指導等を行う外国青年招致事業。地方自治体が事業主体となる。

A 令和5年度以降、JET制度から、民間業者からの派遣に順次切り替えている。民間業者は、年間を通してALTを派遣できるため、安定した配置が可能になる。民間業者から派遣されるALTは日本語を習得している者も多い。各校では、JET制度のALTと同じように子どもたちと接している。

【教育費】教科書の改訂は約4年に1度

Q 教科書等購入事業の消耗品費が前年度比で3千864万2千円減だが、その理由は。

A 令和6年度は、約4年に1度の教科書改訂であり、新しい教科書に併せた指導書やデジタル教科書等を購入した。

令和7年度は、令和6年度と同じ教科書のため、教師用教科書等購入費、児童用教科書等購入費のいずれも減額となっている。

【教育費】「かるた」で生涯学習

Q 安中かるた制作実行委員会の概要は。

A 合併20周年記念事業の一環として、新たに「安中かるた(仮称)」を制作するものである。子どもから高齢者までが、地域及び世代間での交流、安中市の文化や伝統芸能、産業などを学ぶ生涯学習の教材として活用できるよう検討している。作成作業は、8月以降に印刷製本を行い、令和8年2月末の完成を予定している。



写真は現存する「安中かるた」

【国保特別】国民皆保険としての役割は

Q 高額療養費の予算が計上されているが国会において制度の見直しが議論されている。経過や報道をうけて担当課としてどう見ているか。

A 必要かつ適切な医療は保険診療により確保するという国民皆保険の理念のもと、小さなリスクは定率負担、大きなリスクは高額療養費で対応するという基本的な考えに沿って議論の行方、見解に注視している。

【病院事業】公立碓氷病院の名称変更は

Q 病院名称変更事業(病院案内看板 外)公立碓氷病院の名称変更についての話し合いの進捗状況と今後の予定はどうか。

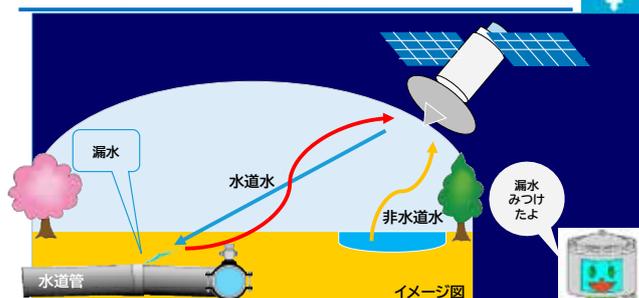
A 合併20周年に併せ検討を重ねている。昭和11年に、久しく、美しく、愛される病院として「久美愛病院」の名称で開設され、平成15年に公立碓氷病院となった。経営強化検討委員会で安中市の市民病院として相応しい名称へ変更するか否かも含め検討する。

【水道事業】人工衛星による漏水解析

Q 人工衛星の画像データによる漏水解析業務導入(予算額900万円)における費用対効果をどの程度見込むか。

A 先行導入している愛知県豊田市の事例では、市内全域の漏水の調査期間がこれまでは60ヶ月(5年)間かかっていたところ、人工衛星を活用した漏水解析後は7ヶ月で漏水調査が完了したと聞いている。

人工衛星画像とAIで漏水みつけます



市内全域に衛星から電磁波を照射して、水道水と非水道水の反射反応の違いをAI等で補正・解析し、漏水の可能性のある区域を特定する

議 案 解 説

主な審議結果を解説



令和7年安中市議会第1回定例会は、2月26日から3月21日までの24日間の会期で開催され、市長から72議案、議会から5議案、合計77議案が提出されました。
今号では、その中から2議案を解説します。
審議結果一覧（一部）は14ページに掲載しています。



議案第33号 安中市営すみれヶ丘霊園条例の一部を改正する条例について

区画墓地の申請条件が緩和されます

安中市営すみれヶ丘霊園の区画墓地の使用対象者について、令和5年の供用開始当初は、「焼骨を有すること」を条件としていましたが、空き区画の状況と、申請条件緩和を求める意見があり、「親族の焼骨を有すること」を申請条件から除きました。

このため、変更後の申請条件は以下のとおりとなります。

- ・安中市に住所がある方
- ・使用許可日から3年以内に墓石等を建立できる方

施行期日は令和7年6月1日です。



供用開始前の区画墓地

議案第28号 安中市手数料条例の一部を改正する条例について

マイクロチップを「鑑札」とみなし、犬の登録手数料を改正します

動物の愛護及び管理に関する法律の一部が改正され、犬猫販売事業者へのマイクロチップの装着等が義務化されました。

マイクロチップが装着され、環境省指定登録機関に登録した犬は、マイクロチップが鑑札とみなされる狂犬病予防法の特例が新設されました。

特例制度に参加し、犬の登録手数料等につき、従来の3,000円が不要となるよう安中市手数料条例の一部を改正するものです。

施行期日は令和7年4月1日です。

「犬と猫のマイクロチップ情報登録」
イメージキャラクターとシンボルマーク ▶
出典：環境省ホームページ
(<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo//pickup/chip.html>)



議会改革から見る議員が果たすべき役割とは

議会改革推進特別委員会 委員長 今井敏博

議会改革推進特別委員会は、改選後に設置し、開かれた議会を目指して住民参画部会とICT化情報公開部会に分かれて活動してきましたが、改めて議員としての主な仕事、果たすべき役割を自覚し、一人一人が活動していくことが、市民から負託を受けた議員にとって重要であります。

議員としての主な仕事

- ・ 市政の現状を把握すること
- ・ 市政の課題を解決するための政策を立案すること
- ・ 市政の運営状況を調査・監査すること
- ・ 市民の意見を反映させること
- ・ 条例や予算、決算を決定すること・・・など

議員が果たすべき役割

- ・ 市政の適法性、妥当性をチェックすること
- ・ 市政運営の重要な意思決定を行うこと
- ・ 市民の多様な意見を把握し、政策提言に反映させること
- ・ 条例や予算、決算に反映させること
- ・ 市民の意思を行政や財政に反映させること
- ・ 市民に開かれた議会を目指すこと・・・など



傍聴のご案内

- 本会議の受付所 旧庁舎3階 議場前
- ① 傍聴受付用紙に住所・氏名を記入
- ② 傍聴受付用紙を受付BOXへ入れ入場
- ※ 議案書の貸し出しをしています (先着5名)
- ※ 入退場自由 / 定員32人

議会を傍聴 しませんか

ネットでも視聴できます

映像配信は
こちら



- 本会議の様子をスマホやタブレット等で視聴できます(ライブ中継・録画視聴)。
- 本庁舎1階ロビーでも生中継

次の定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
					6/6 本会議 開会 9:30~	7
8			11 総務文教常任委員会 9:00~	12 福祉民生常任委員会 9:00~	13 経済建設常任委員会 9:00~	14
15		17 本会議 一般質問 9:00~	18 本会議 一般質問 9:00~		20 本会議 閉会 9:00~	21

安中市議会 公式YouTubeチャンネルのご案内

安中市議会では、常任委員会や高校生との意見交換会、議会報告会など、市議会の活動や取り組みをYouTubeで紹介しています。公式YouTubeチャンネルは右の二次元コードからご覧ください。



映像配信は
こちら

令和7年第1回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

※ 賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
その他の議案は、全員賛成で可決されました。

議案名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
		原田 大	金井 久男	宇佐美 誠	池島 利明	長嶋 陽子	武者 葉子	金井登美雄	小林 克行	巽 久男	壘 次雄	松本 次男	小川 剛	櫻井喜久江	小林 訂史	佐藤 貴雄	今井 敏博	吉岡 完司	柳沢 吉保	柳沢 浩之	高橋 由信	
議案第52号 280MHz帯デジタル同報無線システム整備工事に係る工事請負契約の締結について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号 令和7年度安中市一般会計予算		×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号 令和7年度安中市国民健康保険特別会計予算		×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号 令和7年度安中市後期高齢者医療特別会計予算		×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会議案第5号 ケア労働者の賃金と処遇改善、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

※ 議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

★★★ 皆様からご意見をいただきました ★★★

3月21日から31日に実施した議会報に関するLINEアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。リニューアルに関する項目では、半数以上の方から高評価をいただきました。今後も皆様のご意見を参考に、さらに充実した内容を目指してまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



議会報編集委員

委員長 柳沢 浩之 / 副委員長 池島 利明
原田 大 / 宇佐美 誠 / 長嶋 陽子 / 金井登美雄 / 松本 次男 / 櫻井喜久江